

大学での授業の履修方法

平成29年度 海事科学部
新入生オリエンテーション
2017.4.4



目次

1. 入学から卒業までの流れ
2. 大学の授業形態について
3. 年次進行について
4. 大学における授業の区別
5. 海事科学部1年次の開講科目について
 - 5-1. 全学共通授業科目（鶴甲キャンパス，月～木曜日）
 - 5-2. 学部共通科目（深江キャンパス，金曜日）
6. 科目履修、成績判定、資格取得に関する注意事項
 - 6-1. 履修登録方法
 - 6-2. 成績判定に関する注意事項
 - 6-3. 資格取得に関する注意事項

学生便覧および履修の手引きを一緒にご確認ください。

1.入学から卒業までの流れ

大学を卒業するには……

- 4年間(8学期以上)大学に在籍し、
- 所属学科・コースで決められている科目を学び、
- 定期試験に合格して、
- 卒業論文を書き、
- 卒業に必要な単位数(**130単位以上**)を得る。

2. 大学の授業形態について

平成28年度から神戸大学では 2学期 クォーター制 を導入しました。

【クォーター制とは？】

前期・後期の授業期間をそれぞれ半分に分け、各8週で授業を行う制度です。

各8週の授業期間を「クォーター（略してQ）」と呼びます。

4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
前期						後期					
第1クォーター		第2クォーター		夏季休業		第3クォーター		第4クォーター			
授業履修						授業履修					



冬期休業期間は非常に短い

振替授業告知、授業予備日等をはじめ学歴を注意深く確認しておくこと

注意点1. クォーター制科目の連結制

クォーター制の目的のひとつは、修学内容の理解を細かく区切り、学生の理解を促すことにあります。

他方、大学生に求められる学識量が減ったわけではありません。そのため、初等科目内容の理解を前提とした応用科目、発展科目が後続のクォーター期に開講されます。

4	5	6	7	8	
前期					
第1クォーター		第2クォーター		夏季休業	
微分積分1		微分積分2			
線形代数1		線形代数2			

初等科目内容の履修や理解が無いままに、応用科目、発展科目だけを後続のクォーター期に履修しても、これらの科目の成績判定で合格する(単位を取得できる)可能性は低いと予想されます。必ず初等科目からの履修を心がけて下さい。

注意点2. 一部セメスタ科目の開講

実験、ゼミなど**一部の開講科目は学期(セメスター・半期)制で開講**します。つまり開講期間の異なる科目が同一カリキュラム中に混在します。

4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
前期						後期					
第1クォーター	第2クォーター	夏季休業			第3クォーター	第4クォーター					
第1セメスタ								第2セメスタ			

クォーター制科目は年当たり4期、セメスタ科目は年当たり2期設定されます。

注意点3. クォーター制集中開講科目

多くのクォーター制開講科目は週1コマ開講されます。そして8コマ(約2ヶ月)の授業・試験を受けて合格すれば「1単位」を得ます。(演習・実習系科目は0.5単位等になります。)

他方、集中開講形式のクォーター制開講科目では週2コマ開講されます。つまり、この講義では約2ヶ月間に計16コマの授業・試験を受けることとなります。これらの科目では合格すれば「2単位」を得ます。

クォーター制集中開講科目は週2コマ以上開講されます。

	月曜	火曜	水曜	木曜	金曜
1限					
2限					
3限	「〇〇学」				
4限				「〇〇学」	
5限					
6限					
7限					

注意点4. 期間外・不規則開講科目

大学外部の有識者に教授をお願いした講義等では、定期的な(時間割表に沿った)開講スケジュールとならないケースがあります。これらの科目情報は(急遽開講が決まったものを除き)時間割表枠外に記載されます。仔細は事後発表となる科目もあります。これらの講義情報を見逃さないように時間割表は全て目を通してください。

	月曜	火曜	水曜	木曜	金曜
1限					
2限					
3限					
4限					
5限					
6限					
7限					

期間外・不規則開講科目の情報は時間割表の枠外(主に右枠外か下枠外)に記載されます。

履修時期に関する注意

カリキュラムが複雑であるため履修に当たっては下記項目に注意が必要です。

- ・履修登録：学期（前期・後期）毎
- ・履修取消：クォーター毎
- ・定期試験：クォーター開講は各クォーターの終わり、学期開講は各学期の終わり
- ・成績発表：クォーター毎に発表、単位修得は学期末

申請は「神戸大学教務情報システム」（通称：うりぼーネット）を用いて行います。**うりぼーネットの使い方は1年次第1Q必修科目「情報基礎」で説明**されます。必ず「情報基礎」の授業に出席してください。

1年次前期履修登録期間

履修申請登録は学期ごとに行います。つまり第1Q, 第2Qは4月期にまとめて申請登録します。但し、**1年次初めの履修登録は変則的**で、「基礎教養科目」、「総合教養科目」については5月初旬(抽選登録期間:5/9~5/16 17:00まで)に行います。

4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
前期						後期					
第1クォーター		第2クォーター		夏季休業		第3クォーター		第4クォーター			
第1セメスタ						第2セメスタ					

第1Q, 第2Q, 第1セメスタ, 第1Q集中開講科目, 第2Q集中開講科目, 4月期に履修申請指示のあった期間外・不規則開講科目

総合教養科目及び基礎教養科目については、5月初旬に抽選登録が必要です。

他方、「外国語第I」、「外国語第II」、「情報科目」については履修手続き不要です。

履修登録期間

以降の年次では、第1Q, 第2Qは4月期にまとめて申請登録します。第3Q, 第4Qは10月期にまとめて申請登録します。つまり履修手続きのタイミングは年2回です。

4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
前期						後期					
第1クォーター		第2クォーター		夏季休業		第3クォーター		第4クォーター			
第1セメスタ						第2セメスタ					

第1Q, 第2Q, 第1セメスタ, 第1Q集中開講科目, 第2Q集中開講科目, 4月期に履修申請指示のあった期間外・不規則開講科目

第3Q, 第4Q, 第2セメスタ, 第3Q集中開講科目, 第4Q集中開講科目, 10月期に履修申請指示のあった期間外・不規則開講科目

申請は「神戸大学教務情報システム」(通称:うりぼーネット)を用いて行います。うりぼーネットの使い方は1年次第1Q必修科目「情報基礎」で説明されます。必ず「情報基礎」の授業に出席してください。

履修取消期間

神戸大学では、履修・受講してみた科目の受講を取り消す期間が設定されています。各々、履修開始後の所定の期間に設定されているので留意してください。

4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
前期						後期					
第1クォーター		第2クォーター		夏季休業		第3クォーター		第4クォーター			
第1セメスタ						第2セメスタ					

第1Q, 第1セメスタ
第1Q集中開講科目
の履修取消期間

第2Q, 第2Q集中
開講科目の履修
取消期間

第3Q, 第2セメスタ,
第3Q集中開講科
目の履修取消期間

期間外・不規則開講
科目の履修取り消し
期間は別途, 連絡さ
れる。取り消し自体
が認められないこと
もある。

第4Q, 第4Q集中
開講科目の履修
取消期間

定期試験期間

成績を判定するため定期試験を課す科目が多くあります。定期試験実施時期は各科目の履修期間末に設定されます。学暦予定には定期試験期間の日程が明記され毎年発表されます。

4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
前期						後期					
第1クォーター	第2クォーター		夏季休業			第3クォーター	第4クォーター				
第1セメスタ							第2セメスタ				

第1Q, 第1Q集中開講科目の定期試験期間

第3Q, 第3Q集中開講科目の履修取消期間

期間外・不規則開講科目の成績評価方法や試験実施情報は別途、連絡

第2Q, 第2Q集中開講科目, 第1セメスタ科目の定期試験期間

第4Q, 第4Q集中開講科目, 第2セメスタ科目の履修取消期間

成績発表

自身の成績を確認するため成績発表(各位への告知)が行われます。成績は各科目の履修期間末(定期試験等の成績判定期間終了後)にうりぼーネットで発表します。

4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
前期						後期					
第1クォーター	第2クォーター		夏季休業		第3クォーター	第4クォーター					
第1セメスタ						第2セメスタ					

第1Q, 第1Q集中開講科目の成績発表期間

第3Q, 第3Q集中開講科目の成績発表期間

第2Q, 第2Q集中開講科目, 第1セメスタ科目の成績発表期間

第4Q, 第4Q集中開講科目, 第2セメスタ科目の成績発表期間

期間外・不規則開講科目の成績確認方法は別途、連絡

3. 年次進行について

学科・コース配属
基礎ゼミ配属

総合ゼミ配属
(研究室仮配属)

研究室配属
卒業後の
進路検討

1年

2年

3年

4年

六甲台キャンパス
(月～木)
深江キャンパス
(金)

深江キャンパス

深江キャンパス

深江キャンパス

- 全学共通
授業科目
- 学部共通
科目

- 学部共通
科目
- 専門科目
- 高度教養
科目

- 学部共通
科目
- 専門科目
- 高度教養
科目

- 学部共通
科目
- 専門科目
- 高度教養
科目
- 特別研究
(卒業論文)

毎年次初めての履修ガイダンス開催について

1年

2年

3年

4年

一年次は
新入生オリ
エンテー
ションが履
修ガイダン
スに相当
する。

各年度冒頭(2017年度では4/5)に各年
次生向けに履修ガイダンスが実施され
る。必ず出席すること！新年度開始
後ただちに開催されるので新年度4月
期には予定をいれないこと。

学科配属・コース配属について(学生便覧p.145)

学科配属

1年

2年

3年

4年

海事科学部には下記の3つの学科があります。1年後期に下記の赤字の学科・コースについて配属希望調査が行われます(4種から選択、第1志望から第4志望まで)。

- ・ グローバル輸送科学科 { 航海マネジメントコース(海技士養成)
ロジスティクスコース
- ・ 海洋安全システム科学科
- ・ マリンエンジニアリング学科

他方、学科・コースには定員があります。配属方法は、本人の希望と1年次のGPA、修得単位及びTOEIC(IP)の成績を勘案して実施します。なお、申請書未提出者については、教授会にて審議し配属を決定します。これらの配属は休学者も対象となります。

マリンエンジニアリング学科コース配属について (学生便覧p.145)



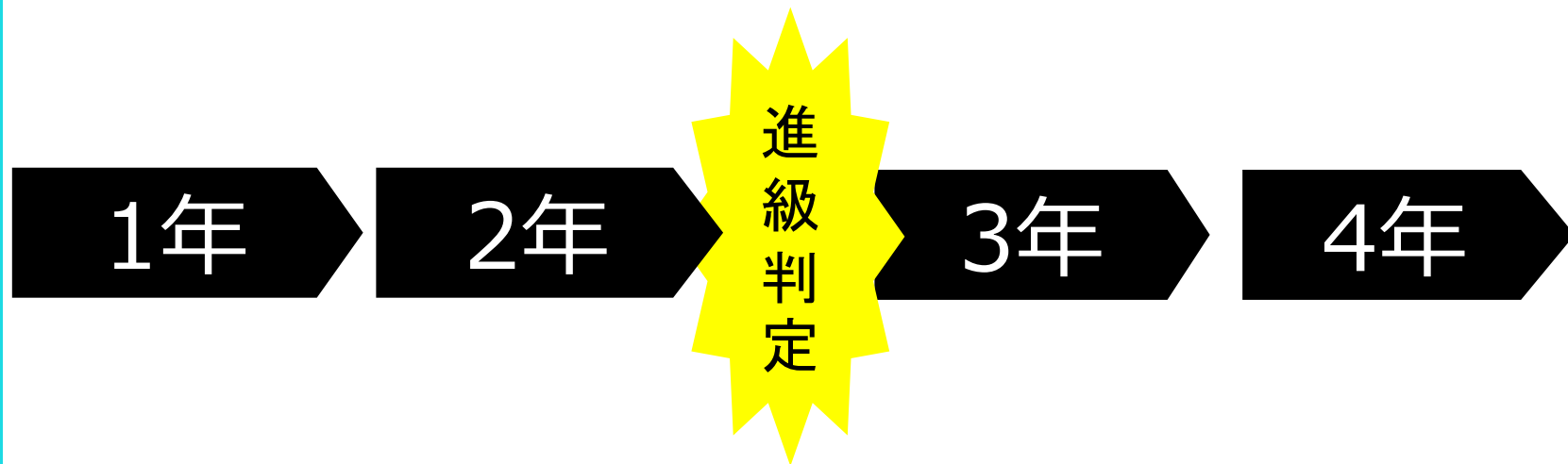
マリンエンジニアリング学科では配属された学生を対象として、2年次末に配属希望調査が行われます(2種から選択)。

- ・ マリンエンジニアリング学科 { 機関マネジメントコース(海技士養成)
メカトロニクスコース

これらの配属手続きで、志望通りの学科・コースに配属されるように、学生各位は大学での勉学に努めてください。

成績不振は進路選択に深刻な影響を及ぼします。

留年の可能性について その1 (学生便覧p.146)



3年次進級要件:

- ・卒業所要科目単位数54単位以上を修得していること
- ・**全学共通授業科目において卒業に必要な科目を全て、修得していること**

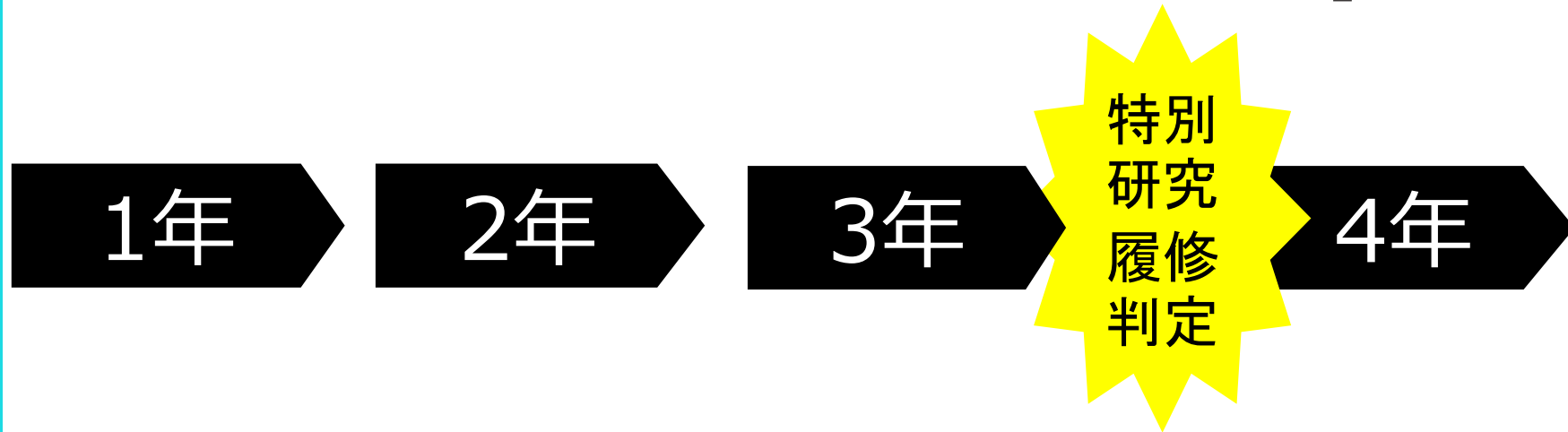
上記双方を満たせていない者は留年となり、次年度は3年次以上で開講される科目は履修できない。→ 留年

2年次進級に必要な全学共通授業単位数 (学生便覧p.132 ～136)

右表の水色地のカテゴリーについては2年次終了時までには全て単位を取得しておかないと、3年次に進級できません。

授業科目の区分など		授業科目等	必要修得単位数	備考
基礎教養科目		別表第1のイに掲げる基礎教養科目の授業科目	4	学生便覧 p.122
総合教養科目		別表第1のイに掲げる総合教養科目の授業科目	4	学生便覧 p.122～123
外国語科目	外国語第I	別表第1のイに掲げる外国語科目の授業科目	4	学生便覧 p.124 外国語第Iの項参照
	外国語第II	別表第1のイに掲げる外国語科目の授業科目	4	学生便覧 p.124 外国語第IIの項参照
情報科目		別表第1のイに掲げる情報科目の授業科目	1	学生便覧 p.124
健康・スポーツ科学		別表第1のイに掲げる健康・スポーツ科学の授業科目		学生便覧 p.124
高度教養科目		海事科学部高度教養科目に関する内規別表に関する授業科目 他学部及び国際教養教育院開講の高度教養科目	4	2年進級時に履修ガイドランスにて説明
共通専門基礎科目		別表第1のイに掲げる共通専門基礎科目の授業科目	10	学生便覧 p.125

留年の可能性について その2(学生便覧p.146)



「特別研究」は全学科・コース所属学生にとって必修科目であり、履修・合格しなければ卒業できない。そのため、卒業1年前までに特別研究履修要件を満たさなければ留年する。

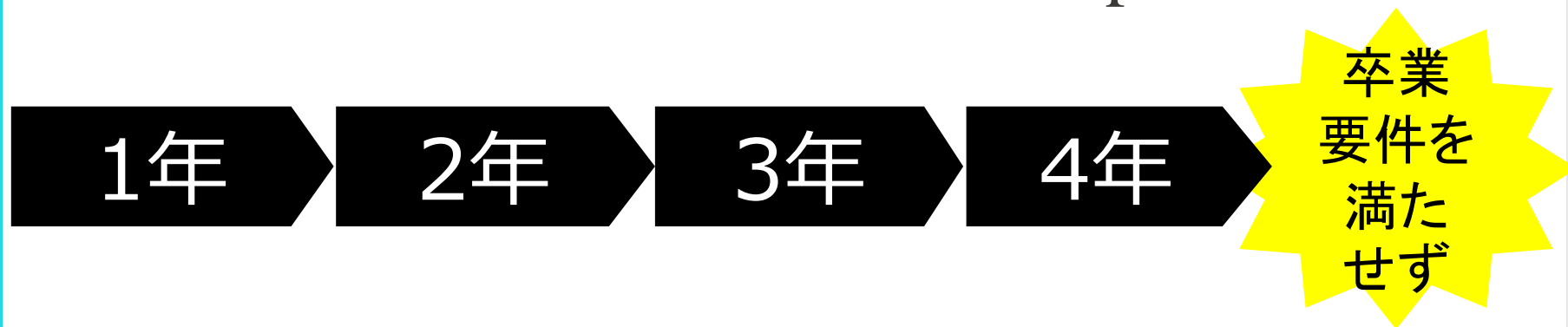
特別研究履修要件：

- ・3年間以上在学していること
- ・3年次以上に進級していること(事実上の要件)
- ・卒業所要科目単位数100単位以上を修得していること

上記全てを満たせていない者は留年となり、次年度は特別研究を履修できない。→ 事実上の留年

留年の可能性について その3

(学生便覧p.132～136)



各学科・コース所属学生毎の卒業要件が海事科学部規則別表第2にまとめられている(学生便覧p.132～136)。4年次進級後、特別研究履修・合格後であってもこれらの要件を満たさない学生は卒業が認められない。

卒業要件について (学生便覧p.132~136)

卒業要件は学科・コースごとに異なります。学生便覧では右図のような表で各学科・コースごとに卒業要件をまとめたものを表しています。

- グローバル輸送科学科
航海マネジメントコース p.132
- グローバル輸送科学科
ロジスティクスコース p.133
- 海洋安全システム科学科 p.134
- マリンエンジニアリング学科
機関マネジメントコース p.135
- マリンエンジニアリング学科
メカトロニクスコース p.136

別表第2 履修要件(第6条関係)
イ. グローバル輸送科学科 航海マネジメントコース

授業科目の区分等	授業科目等	必要修得単位数	備考
基礎教養科目	別表第1のイに掲げる基礎教養科目の授業科目	4	
総合教養科目	別表第1のイに掲げる総合教養科目の授業科目	4	
外国語科目	外国語第Ⅰ	4	English Communication B1, B2, English Literacy B1, B2はAdvanced English Communication B1, B2, Advanced English Literacy B1, B2で読み替えることができる。
	外国語第Ⅱ	4	ドイツ語、フランス語、中国語及びロシア語のうちから1つ選択すること。 ※ドイツ語、フランス語、中国語の初級A3、初級A4、初級B3、初級B4は初級SA3、初級SA4、初級SB3、初級SB4で読み替えることができる。
情報科目	別表第1のイに掲げる情報科目の授業科目	1	
健康・スポーツ科学	別表第1のイに掲げる健康・スポーツ科学の授業科目		修得した単位は、必要修得単位数(130単位)に算入できる。
高度教養科目	海事科学部高度教養科目に関する内規別表に関する授業科目 他学部及び国際教養教育院開講の高度教養科目	4	
共通専門基礎科目	別表第1のイに掲げる共通専門基礎科目の授業科目	10	履修方法については別に定める。
学部共通科目	別表第1のイに掲げる学部共通科目の授業科目	24	
専門科目	学科共通科目	18	
	航海マネジメントコース 第一専門科目	34	
	航海マネジメントコース 第二専門科目	7	
他コース・他学科専門科目・他学部授業科目			この区分の他学部授業科目は、別表第1のイに掲げる学部共通科目の授業科目を除く。 修得した単位は、6単位まで必要修得単位数(130単位)に算入できる。
合計		130	

ここでは1年次の科目履修に関連する項目に絞って紹介します。
 グローバル輸送科学科航海マネジメントコースの(卒業)履修要件を例にまずは上半分程度を示します。

水色・肌色地の下地で示された科目は1年次から履修開始となる科目カテゴリです。
 このスライドの備考欄には参照ページを付記しています。

授業科目の区分など		授業科目等	必要修得単位数	備考
基礎教養科目		別表第1のイに掲げる基礎教養科目の授業科目	4	学生便覧 p.122
総合教養科目		別表第1のイに掲げる総合教養科目の授業科目	4	学生便覧 p.122～123
外国語科目	外国語第I	別表第1のイに掲げる外国語科目の授業科目	4	学生便覧 p.124 外国語第Iの項参照
	外国語第II	別表第1のイに掲げる外国語科目の授業科目	4	学生便覧 p.124 外国語第IIの項参照
情報科目		別表第1のイに掲げる情報科目の授業科目	1	学生便覧 p.124

(卒業)履修要件の下半分には高学年次(2~4年次)履修の力
 カテゴリ科目があり、これは肌色地にはしていません。

カテゴリ毎
 の履修要件の
 みを満たして
 も航海マネジ
 メントコースの
 場合、114単
 位にしかなり
 ません。
 しかし、いず
 れの学科・
 コースでも**卒業には130単
 位以上の単位
 取得が必要**
 です。

授業科目の区分など			授業科目等	必要修得 単位数	備考
健康・スポーツ科学			別表第1のイに掲げる健康・ スポーツ科学の授業科目		学生便覧 p.124
高度教養科目			海事科学部高度教養科目に 関する内規別表に関する授 業科目 他学部及び国際教養教育院 開講の高度教養科目	4	2年進級時 に履修ガイ ダンスにて 説明
共通専門基礎科目			別表第1のイに掲げる共通 専門基礎科目の授業科目	10	学生便覧 p.125
学部共通科目			別表第1のイに掲げる学部 共通科目の授業科目	24	学生便覧 p.125~126
専門 科目	学科共通科目		別表第1のロに掲げる学科 共通科目の授業科目	18	
	航 海 マ ネ ジ メ ン ト コ ー ス	第一専門科目	別表第1のロに掲げる航海 マネジメントコースの第一専 門科目の授業科目	34	
		第二専門科目	別表第1のロに掲げる航海 マネジメントコースの第二専 門科目の授業科目	7	
他コース・他学科専門					
合計				(114) 130	

基礎教養科目から学部共通科目までは、海事科学部内の学科・コースを問わず、卒業履修要件は同じです。専門科目のカテゴリで2年次以降の配属学科の差異が生じます。そのため、まず1年次は右表の水色地の科目単位の完全な取得と、肌色地のカテゴリ科目の履修・合格に努めて下さい。

授業科目の区分など		授業科目等	必要修得単位数	備考
基礎教養科目		別表第1のイに掲げる基礎教養科目の授業科目	4	学生便覧 p.122
総合教養科目		別表第1のイに掲げる総合教養科目の授業科目	4	学生便覧 p.122～123
外国語科目	外国語第I	別表第1のイに掲げる外国語科目の授業科目	4	学生便覧 p.124 外国語第Iの項参照
	外国語第II	別表第1のイに掲げる外国語科目の授業科目	4	学生便覧 p.124 外国語第IIの項参照
情報科目		別表第1のイに掲げる情報科目の授業科目	1	学生便覧 p.124
健康・スポーツ科学		別表第1のイに掲げる健康・スポーツ科学の授業科目		学生便覧 p.124
高度教養科目		海事科学部高度教養科目に関する内規別表に関する授業科目 他学部及び国際教養教育院開講の高度教養科目	4	2年進級時に履修ガイドランスにて説明
共通専門基礎科目		別表第1のイに掲げる共通専門基礎科目の授業科目	10	学生便覧 p.125
学部共通科目		別表第1のイに掲げる学部共通科目の授業科目	24	学生便覧 p.125～126

4. 大学における授業の区別(カテゴリー)

(学生便覧p.122～131, p.132～136)

各々のカテゴリーにおいて必修科目・選択必修科目・選択科目として各開講科目が設定されています。

全学共通授業科目

(時間割コードが”OG○○○”または”OU○○○”の科目)

時間割コード: アルファベットの前の数字は開講期を表します。

(例: 2W○○○→2Q開講)

・・・国際教養教育院が提供する授業で、他学部学生と共に鶴甲キャンパスで提供されるものが多数です。海事科学部のカリキュラム編成では2年次から深江キャンパスでの授業が始まるため、**1年生のうちに修得・合格**しておいてください。

不合格科目が多数に上ると、2年次以降も再履修が必要となりますが、その際、鶴甲ー深江キャンパス間の頻繁な移動を強いられてしまいます。

全学共通授業科目を、海事科学部の履修要件に則して分類すると、次の6つのカテゴリに属す科目となります。

- 1.基礎教養科目、2.総合教養科目、3.外国語科目、
- 4.情報科目、5.健康スポーツ科学、6.共通専門基礎科目

高度教養科目

・・・国際教養教育院及び各学部が提供する授業

このカテゴリ一科目の開講時期は2年次以降です。皆さんが2年次以降に進級した際に年次初めに開催される「履修ガイダンス」にて詳細を説明します。2年次以降は、毎年度冒頭に開催される「履修ガイダンス」に必ず出席してください。

学部共通科目

・・・海事科学部や他学部が開講する専門的な授業

(学生便覧p.125～126)

専門科目 (時間割コードが”OW○○○”の科目)

・・・海事科学部が開講する授業、2年次以降に開講します。

5. 海事科学部1年次の開講科目について

5-1. 全学共通授業科目の内訳

(鶴甲キャンパス, 月曜日～木曜日)

基礎教養科目・・・卒業要件:4単位以上

人文系、社会系、生命科学系、自然科学系の4つの分野から開講し、基本的な知識及び「ものの見方」を学び、理解することを目的とした科目群。1年次 第2Qから授業が始まります。

総合教養科目・・・卒業要件:4単位以上

多文化に対する理解を深め、多分野にまたがる課題を考え、複眼的なものの見方、課題発見力を要請することを目的とした科目群。1年次 第2Qから授業が始まります。

これらの科目の履修申請上の注意点：
必ず抽選登録期間に登録すること！
(抽選登録期間:5/9～5/16 17:00まで)

外国語科目・・・卒業要件:8単位 内訳

外国語第Ⅰ(全て必修)・・・卒業要件:4単位

English Communication B1,B2

English Literacy B1,B2

外国語第Ⅱ(事実上全て必修)・・・卒業要件:4単位

言語としては、ドイツ語、フランス語、ロシア語、中国語から1種
を選択

外国語科目の履修申請上の注意点:

あらかじめクラス指定されており、履修登録不要
(大学による事前登録)。クラス分けは掲示板で発表。

健康・スポーツ科学(選択)

情報科目・・・卒業要件:1単位

情報基礎(必修・

海事科学部学生については第1Q木曜日4限目開講)

情報科目の履修申請上の注意点:

履修登録不要。初回の授業(4月13日)で履修登録等に必要な“うりぼーネット”にログインするためのアカウント通知書を配布します。このシステムが利用できないと、以降の修学に大きな支障が生じますので、必ず「情報基礎」の講義には出席してください。

共通専門基礎科目・・・卒業要件:10単位以上

【数学及び理科の科目群】

専門科目を受けるための準備や導入のための科目群

数学・・・微分積分学、線形代数学、数理統計学

理科・・・物理系、化学系科目群とその実験科目

海事科学部共通専門基礎科目 (学生便覧p.147より抜粋)

数学系	物理学系	化学系
微分積分1 微分積分2 微分積分3 微分積分4 線形代数1 線形代数2 線形代数3 線形代数4 数理統計1 数理統計2	力学基礎1 力学基礎2 連続体力学基礎 熱力学基礎 電磁気学基礎1 電磁気学基礎2	基礎物理化学1 基礎物理化学2 基礎有機化学1 基礎有機化学2
6単位以上	4単位以上	要取得単位数規定なし

5-2. 学部共通科目（深江キャンパス, 金曜日）

学部共通科目・・・卒業要件:24単位以上

特に海事科学部学生が共通して修得すべき学問内容をまとめた科目群。一部、他学部開講科目を含む。

初年次セミナー(必修・第1Q開講)

初回は全体ガイダンス(2304教室で実施)、その後は少人数クラスに分かれて授業を行います。クラスの割り振りは、初回授業で発表します。

コミュニケーション英語A(必修・第1Q開講)

コミュニケーション英語B(必修・第2Q開講)

コミュニケーション英語C(必修・第3Q開講)

コミュニケーション英語D(必修・第4Q開講)

講義は少人数クラス分けで実施し、習熟度別クラスになっています。掲示板で自身の所属するクラスを確認して履修登録をしてください。

海事科学通論(必修・第2Q開講)

海事科学部の各学科・コースの専門内容の説明を行います。皆さんが配属学科を選ぶために必要な情報提供を行いますので、内容をよく理解してください。

ライティング英語A(必修・第3Q開講)

ライティング英語B(必修・第4Q開講)

講義は少人数クラス分けで実施し、習熟度別クラスになっています。掲示板で自身の所属するクラスを確認して履修登録をしてください。

地勢学A(選択・第1Q開講)、地勢学B(選択・第2Q開講)、
海洋学1(選択・第3Q開講)、海洋学2(選択・第4Q開講)、
海事社会学-1(選択・第3Q開講)、海事社会学-2(選択・第4Q開講)、
実験心理学1(選択・第3Q開講)、実験心理学2(選択・第4Q開講)
これらは選択科目(全て学部共通科目)ではありますが、学部共通科目は総計24単位以上取得しないと卒業要件を満たせません。
積極的に履修してください。

深江キャンパス, 第1Q金曜日開講科目一覧

初年次セミナー(必修・第1Q金曜日1限目 開講)

コミュニケーション英語A(必修・第1Q金曜日2限目 開講)

地勢学A(選択・第1Q金曜日3限目 開講)

海事科学部「学部共通科目」単位取得に関する注意喚起

1年次、深江キャンパスでの科目開講の機会は週1回だけです。しかし、**1年次金曜日の受講機会は「学部共通科目」の取得単位数(卒業要件)を満たす上で非常に重要**です。

ここで取得単位数が不十分な状態になると、後に順調に進級したとしても、4年次になってから「学部共通科目」カテゴリーの授業を取り直す事態になります！くれぐれも注意してください。

6. 履修登録、成績判定、資格取得に関する 注意事項伝達

6-1. 履修登録方法

履修登録は学生自身が神戸大学教務情報システム(うりぼーネット)を用いて行います。この**システムの操作方法は第1Q開講科目「情報基礎」で説明**されますので必ず使い方をマスターしてください。

1年次第1Q,第2Q履修登録締切は4/20です。4/13の「情報基礎」受講の後、あまり間がありませんので、緊張感をもって履修登録にあたってください。**うりぼーネット上の手続きを行わずに授業だけに出席し続けても「履修」が認められません！**

学生毎のIDとパスワードが発行され、コンピュータシステムにログインした状態(学生を特定した状態)で履修申請を受け付けるシステムになっています。自身のIDとパスワードに関する情報を学生各位が他人に漏洩することは禁止されています。そのため、他人に履修手続きを代行してもらうことはできません。

履修登録手続きのイメージ

神戸大学トップページ ⇒ 在学生の方へ ⇒ うりぼーポータル ⇒ 「うりぼーネット」 ⇒ ユーザーIDとパスワードを入力してログイン



神戸大学学生向けポータルサイト

うりぼーポータル

よくある質問と回答

お問い合わせ先一覧

アクセス・キャンパスマップ

神戸大学トップページへ

トピックス

- 2017/03/02 [【全学部生】平成29年度前期の全学共通授業科目の抽選登録について\(3/24~4/3\)](#)
- 2017/03/02 [【全学生】平成29年度 前期・第1クォーター・第2クォーターの履修登録について\(4/7~4/20\)](#)
- 2017/03/01 [証明書自動発行機、うりぼーネット及びシラバスシステムの停止について【3月31日-4月3日】](#)
- 2017/03/01 [【イベント情報】2016年度 第4回海外留学フェア\(3月13日\)](#)
- 2017/02/27 [2016年度「卒業・修了時アンケート」の実施について](#)
- 2017/02/23 [2017年度版神戸大学LMS BEEF リリースについて\(3/14 15:00\)](#)
- 2017/02/23 [日本学生支援機構奨学金\(学部\)停止中の方の手続きについて](#)
- 2017/02/21 [平成28年度後期「学修の記録」実施のお知らせについて](#)
- 2017/02/21 [【イベント情報】平成28年度博士学位記授式について\(大学院博士・博士後期課程\)](#)

緊急情報

現在、緊急情報はありません

神戸大学教務情報システム うりぼーネット

Kobe University Academic Affairs Information System

- 教務情報システム(うりぼーネット)を利用する前に
- システム停止情報
2017年3月31日(金)13時~4月3日(月)9時(予定)

高度教養科目

履修対象者は、平成28年度入学者から

国際教養教育院

神戸グローバル
チャレンジプログラム
Feel the Global! Change Your World!

神戸大学LMS
BEEF

LEARNING
COMMONS

カテゴリー一覧

授業／履修登録

- 履修登録／履修取消
- 履修登録・抽選登録／履修取消期間／成績発表の期間
- GPA
- キャンパスカレンダー
- 授業時間割
- シラバス
- 授業振り戻りアンケート
- 交通機関の運休、気象警報の場合における授業、定期試験の休講措置
- 学部・研究科教務担当窓口一覧
- 神戸大学LMS BEEF
- 科目ナンバリング
- 高度教養科目

学生生活

- SNS等による情報に関する注意
- 学生生活に関するマナーとルール
- 届出・届出等手続き一覧
- 各種証明書
- 通学定期乗車券の購入方法
- 授業料
- 授業料・入学科免除などの制度
- 奨学金制度
- 学生寮
- 課外活動
- 保険制度
- 学生表彰制度
- 学生相談
- 運動施設・課外活動施設の概要

健康／安心／安全

- ハラスメントに関する相談
- こことからの健康相談
- 「いしかり」関連情報
- 障害学生支援
- 危機管理マニュアル
- 公益通報
- 情報倫理

うりぼーポータル内の情報もよく確認しておいてください。

ログイン後、履修・抽選タグをクリックして履修申請画面を表示させる

新着情報
あなた宛の新着情報があります。
新着の掲示があります。

MYスケジュール

2017年2月

Sun	Mon	Tue	Wed	Thu	Fri	Sat
			1	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11
12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25
26	27	28				

履修登録・登録状況照会

氏名
所属
年度・学期
電話番号(自宅)
履修登録期限

第1クォーター 第2クォーター 第3クォーター 第4クォーター

	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日	日曜日
1限	1W403 安全工学基礎論 嶋田 博行	1W408 流体力学1 宋 明良	1W104 経済学I 松本 秀福	1W400 物理化学I 山内 知也	1W154 ライティング英語2 入江 伸光	未登録	未登録
2限	1W401 物理化学II 蔵岡 孝治	1W410 材料力学1 藤本 岳洋	未登録	1W400 物理化学I 山内 知也	1W138 応用数学2(学番下一桁:奇数) 石井 克幸	未登録	未登録
3限	未登録	1W404 自然エネルギー工学 井川 博雅	1W254 基礎ゼミ1(山下) 山下 和雄	1W402 電気電子工学 鼓 哲郎	未登録	未登録	未登録
4限	未登録	1W119 最新船用機器・技術概論 段 智久	未登録	1W412 海軍政策論 具田 太	未登録	未登録	未登録
5限	未登録	未登録	未登録	未登録	未登録	未登録	未登録
6限	未登録	未登録	未登録	未登録	未登録	未登録	未登録
7限	未登録	未登録	未登録	未登録	未登録	未登録	未登録

週時表外の科目、期間外、不規則開講科目を履修するには下のボタンを押す！

第1Q、第2Qの時間割はそれぞれこのタグを押すことで表示される

- よく使うメニュー
- 授業ポートフォリオ
 - 履修登録・登録状況照会
 - 履修成績照会
 - 単位修得状況照会
 - 休補補講参照

集中講義など(隔週講義等で上記一覧に表示できない履修科目を含む。)

[重要] うりぼーネット上での履修登録手続きが 終わった後にすること！

うりぼーネットで履修登録後、[履修登録・登録状況照会]の画面下にある [PDF出力] をクリックし、PDFデータを印刷(プリントアウト)する。**プリントアウトしたものを海事科学部事務棟1Fの教務学生グループに提出する！**

新着情報
あなた宛の新着情報があります。
■ 新着の掲示があります。

MYスケジュール
2017年2月

Sun	Mon	Tue	Wed	Thu	Fri	Sat
			1	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11
12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25
26	27	28				

2017/02/16(Thu)

1限: サブアトムック物理化学 @4号館4304講義室

1限: 環境生化学 @4号館4304講義室

2限: サブアトムック物理化学 @4号館4304講義室

2限: 環境生化学 @4号館4304講義室

3限: エネルギー・環境・経済論 @4号館4304講義室

3限: 資源工学 @4号館4304講義室

4限: エネルギー・環境・経済論 @4号館4304講義室

4限: 資源工学 @4号館4304講義室

よく使うメニュー

- 授業ポートフォリオ
- 履修登録・登録状況照会
- 履修成績照会
- 単位修得状況照会
- 休講補講参照

1W401 物理化学Ⅱ 蔵岡 孝治	1W410 材料力学Ⅰ 藤本 岳洋	未登録	1W400 物理化学Ⅰ 山内 知也	1W138 応用数学Ⅱ(字番下一桁:奇数) 石井 克幸	未登録	未登録
未登録	1W404 自然エネルギー工学 井川 博雅	1W254 基礎ゼミⅠ(山下) 山下 和雄	1W402 電気電子工学 藪 哲郎	未登録	未登録	未登録
未登録	1W119 最新船用機関・技術概論 段 智久	未登録	1W412 海事政策論 長田 太	未登録	未登録	未登録
未登録	未登録	未登録	未登録	未登録	未登録	未登録
未登録	未登録	未登録	未登録	未登録	未登録	未登録
未登録	未登録	未登録	未登録	未登録	未登録	未登録

集中講義など(隔週講義等で上記一覧に表示できない履修科目を含む。)

PDF出力 履修状況をPDFファイルに出力する場合に使用します

プリントアウトのイメージ

※提出前の注意事項

1. 履修登録が完了してから最終版を提出すること。
2. 学籍番号、氏名、提出年月日を記入すること。
3. 特別開講等で履修登録コードがない場合は、赤字で記入のうえ、提出時に窓口で申し出ること。
4. 前期は1Qと2Q、後期は3Qと4Qをそれぞれホチキス留めして提出すること。

平成28年度2Q 履修科目一覧表							2017年02月16日	
平成28年度1Q 履修科目一覧表							ページ 1/1	
所属	学次	学籍番号	氏名	履修科目	単位	提出日		
1	1	18001	海 太郎	安全工学基礎	2.0単位			
2	1	18002	海 太郎	物理化学Ⅰ	2.0単位			
3	1	18003	海 太郎	材料力学Ⅰ	2.0単位			
4	1	18004	海 太郎	電気電子工学	2.0単位			
5	1	18005	海 太郎	航海学Ⅰ	2.0単位			
6	1	18006	海 太郎	航海学Ⅱ	2.0単位			
7	1	18007	海 太郎	航海学Ⅲ	2.0単位			
8	1	18008	海 太郎	航海学Ⅳ	2.0単位			
9	1	18009	海 太郎	航海学Ⅴ	2.0単位			
10	1	18010	海 太郎	航海学Ⅵ	2.0単位			
11	1	18011	海 太郎	航海学Ⅶ	2.0単位			
12	1	18012	海 太郎	航海学Ⅷ	2.0単位			
13	1	18013	海 太郎	航海学Ⅸ	2.0単位			
14	1	18014	海 太郎	航海学Ⅹ	2.0単位			
15	1	18015	海 太郎	航海学Ⅺ	2.0単位			
16	1	18016	海 太郎	航海学Ⅻ	2.0単位			
17	1	18017	海 太郎	航海学Ⅼ	2.0単位			
18	1	18018	海 太郎	航海学Ⅽ	2.0単位			
19	1	18019	海 太郎	航海学Ⅾ	2.0単位			
20	1	18020	海 太郎	航海学Ⅿ	2.0単位			
21	1	18021	海 太郎	航海学ⅰ	2.0単位			
22	1	18022	海 太郎	航海学ⅱ	2.0単位			
23	1	18023	海 太郎	航海学ⅲ	2.0単位			
24	1	18024	海 太郎	航海学ⅴ	2.0単位			
25	1	18025	海 太郎	航海学ⅵ	2.0単位			
26	1	18026	海 太郎	航海学ⅶ	2.0単位			
27	1	18027	海 太郎	航海学ⅷ	2.0単位			
28	1	18028	海 太郎	航海学ⅸ	2.0単位			
29	1	18029	海 太郎	航海学ⅹ	2.0単位			
30	1	18030	海 太郎	航海学ⅺ	2.0単位			
31	1	18031	海 太郎	航海学ⅻ	2.0単位			
32	1	18032	海 太郎	航海学ⅼ	2.0単位			
33	1	18033	海 太郎	航海学ⅽ	2.0単位			
34	1	18034	海 太郎	航海学ⅾ	2.0単位			
35	1	18035	海 太郎	航海学ⅿ	2.0単位			
36	1	18036	海 太郎	航海学ⅿ	2.0単位			
37	1	18037	海 太郎	航海学ⅿ	2.0単位			
38	1	18038	海 太郎	航海学ⅿ	2.0単位			
39	1	18039	海 太郎	航海学ⅿ	2.0単位			
40	1	18040	海 太郎	航海学ⅿ	2.0単位			
41	1	18041	海 太郎	航海学ⅿ	2.0単位			
42	1	18042	海 太郎	航海学ⅿ	2.0単位			
43	1	18043	海 太郎	航海学ⅿ	2.0単位			
44	1	18044	海 太郎	航海学ⅿ	2.0単位			
45	1	18045	海 太郎	航海学ⅿ	2.0単位			
46	1	18046	海 太郎	航海学ⅿ	2.0単位			
47	1	18047	海 太郎	航海学ⅿ	2.0単位			
48	1	18048	海 太郎	航海学ⅿ	2.0単位			
49	1	18049	海 太郎	航海学ⅿ	2.0単位			
50	1	18050	海 太郎	航海学ⅿ	2.0単位			

集中講義・その他

1234567W 海事太郎 4月10日提出

6-2. 1年次開講科目の連続履修制約について

科目のあとに算用数字がつく科目については、数字の小さい順から履修すること。

例： 海事社会学-1(3Q開講)
 海事社会学-2(4Q開講)

同半期(1,2Qもしくは3,4Q)に開講される1,2または3,4がつく科目は、必ずセットで履修登録を行うこと。どちらか一方のみの履修登録は認められない。**注釈※要参照**

例： 経済学I-1(1Q開講)
 経済学I-2(2Q開講)

※対象科目は、別紙“連続型科目の履修方法について”を参照してください。

6-3. 成績判定に関する注意事項

GPAについて(学生便覧p.163)

神戸大学では、学生各位の合格科目成績をGPに基づいて評価している。学生間の成績の序列化が必要になった際には、同ページに基づくGPAの高低によって成績順位を決定している。他にもGPAは単位取得状況(成績表)にも付記され、就職活動の際には求職先企業が成績の高低を判断する指標にもなるので留意されたい。

定期試験等における不正行為について

(学生便覧p.98, 174)

定期試験での不正行為(カンニング等)が発覚した際には、当該学生の同一学期の単位認定が全て取り消されます。レポート作成・提出についても不正行為に当たるものが定義されていますので、不正に手を染めることなく自力を高める修学に努めて下さい。

6-3. 資格取得に関する注意事項

教育職員免許状取得について(学生便覧p.176)

学生便覧を読み、取得を希望する場合、修得方法の詳細については教務学生グループに尋ねてください。

船舶職員資格(海技士免状)取得について

神戸大学海事科学部のグローバル輸送科学科航海マネジメントコース、マリンエンジニアリング学科機関マネジメントコースは船舶職員養成施設の認定を受けた海技士教育機関でもあり、これは海事科学部の特色のひとつです。1年次では、学科未配属ということもあり、本件に直接関連する授業は開講されません。

海技士免状取得には法律で定められた身体検査基準を満たさなくてはなりません。基準表が学生便覧p.204に記載されていますので、海技士免状取得を希望しているが身体検査基準が気になる方は教務学生グループ、保健管理センターに相談してください。

結び

大学の講義科目は、高等学校の授業と大きく異なります。

各科目ごとに担当教員が異なり、個々の教員との接点は週1回の授業だけという局面が増えます。高校に較べて、大学では「学生—教員の距離感」は大きくなったと感じる学生が大半です。しかし、修学関係の問題では、やはり教職員でないと正しい説明ができない内容が多々あります。それほど気負わずに事務棟1Fの教務学生グループに相談に来てください。

学業においては、前回の講義説明内容を学生各位が理解しているという前提に基づいて後続の講義の説明がなされます。クォーター、年次にまたがって講義内容は難しくなっていきます。内容の理解度や応用性が問われ、「融通の利かない丸暗記」では対応できなくなる学問分野が多いです。修学に当たって「大学教員が学生に求めるもの」が「高校教員が学生に求めるもの」とは異なるように感じる人もいます。是非多くの講義を履修して、「大学での勉強」に触れてみてください。